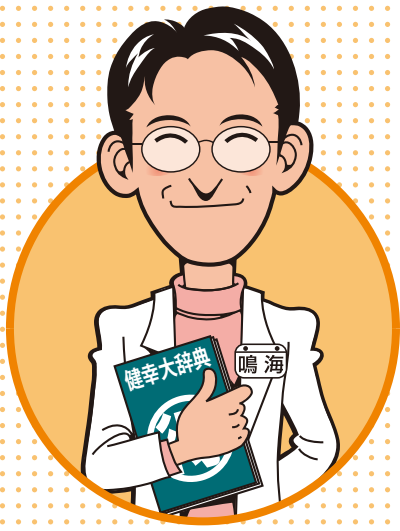


## 健幸タイム



## 夢は、住所不定の著述家

昔、住んでいた家の庭に、よくスズメが来ていました。

どこからともなく飛んできて、餌を探したり、毛づくろいをしたり、そして、またどこかへ飛んでいく…

スズメたちに「所有」している家はないけれど、こうして、さまざまな場所をその時々「宿」にしている。そんなスズメのライフスタイルに感動して以来、僕の理想とする生活は「住所不定の著述家(話したり、書いたりする人)となった」のでした。

「今日は、〇〇町でお話会。いただいたお礼で、近くの宿に泊まろう。明日は、隣の村でお話会。またその近くの宿で、お世話になろう…」

そして、お話会がない日は、思いのままに言葉を綴る…そんな生活、なんか、よくないですか？(笑)

## あなたは、誰ですか？

僕たちは、皆「地球」という「大きな家」に住まわせてもらっている存在。

だから、すべては、特定の誰かの所有物ではありません。

ジャイアンが言う「お前のものは俺のもの。俺のもの、俺のもの」という台詞も、ある意味、真理なわけです(笑)。

ところで、「あなたは誰ですか？」という質問に、どんなふうに答えますか？

名前を言いますか？

職場での役職を伝えますか？

日本人です、と答えますか？

でも、どの答えも、よく考えると、いつでも、どこにでも、変えられることじゃないでしょうか。

名前も、職業も、国籍も、ゼーんぶ、いつでも、そうじゃなくなる可能性があることばかりです。

もし、一つだけ「変えられないこと」が、あるとしたら、それは「地球人」という『自然界の一員』であること。だから、『自然界の「分」身』として「自分」と読むのかもしれない。

## ラクに感じることは、

## 自然界の摂理にかなっている

昔、あるお金持ちの方が、「ものを所有すればするほど、ところが落ち着かなくなる」と、言っていました。

これは、僕たちがもともと「自然界の分身」であることを考えたら、あたりまえだのクラッカー。(古過ぎてわかんない人は、スルーっとスルーしてね)

自然界には「特定のものを、特定の誰かが所有する」という概念が存在しないから、所有にこだわるところが、自然界と共鳴しないということなのでしょ。

逆に、所有することにこだわらないと、気持ち

がラクになるのは、そのほうが「自然界の摂理」にかなっているから。

自分の気持ちがラクに感じることは、自然界の摂理にかなっていること

そんな信念のもと、ラクなほうへ、ラクなほうへと流されながら、「住所不定の著述家」という理想の生活へと日々近づいている今日この頃なのであります。

## 鳴海周平プロフィール



1971年北海道生まれ。心身の波動を高める製品の開発・普及をおこなう(株)エヌ・ピュア代表。健幸エッセイスト、ヒーラーとしても、ラジオ番組や講演、ブログ、著作などを通じて「こころとからだの健幸情報」を発信している。著書に「医者いらずになる1分間健康法」(帯津良一氏との共著)「小食・不食・快食」の時代へ(はせくらみゆき氏との共著)(こころまでワニ・プラス刊)「1分間ヒーリング」(徳間書店刊)などがある。最新刊は「運のミカタ」(ワニ・プラス)。



LINE  
友達登録  
こちらから

アメーバブログ  
<https://ameblo.jp/npure/>  
エヌ・ピュア公式サイト  
<https://npure.co.jp>



「運の見方」が変わると  
「運は味方」になってくれます。  
人生が楽しく運ばれるための1冊です。

運と仲良くなれる  
17の習慣、教えます

運に良し悪しは  
ありません。

高島亮 鳴海周平  
著

定価 1,760円(税込)